

空港臨海部 グランドビジョン 2040

多様な人々が交流・挑戦する“未来型創造都市”
～世界へはばたく空港臨海部～

令和4年3月 大田区

空港臨海部グランドビジョン 2040 の策定にあたって

空港臨海部は、日本の製造業の基盤を支える工業集積地であるとともに、首都圏の一翼を担う物流の一大拠点となっています。また、都心部としては貴重な公園・緑地など自然資源も多く、憩いの場・賑わいの場として、更なる魅力の向上が期待されています。

大田区では、平成 22 年(2010 年)、羽田空港の再拡張・国際化が目前と迫る中、2030 年の羽田空港とその周辺の地域における目指すべき将来像を定めた「空港臨海部グランドビジョン 2030」を策定し、空港臨海部の更なる発展に向け、様々な事業に取り組んでまいりました。

策定から 10 年余りが経過し、この間には、羽田空港の再拡張、国際線の増便、令和島の誕生、HANEDA GLOBAL WINGSの開発、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催など、空港臨海部を取り巻く状況は大きく変わりました。

また、令和 2 年に世界はもとより日本国内でも猛威を振るった新型コロナウイルス感染症は、私たちの暮らし、経済にも大きな影響を与えたところです。一方で、新型コロナウイルス感染症は、自動運転、AI、通信技術などデジタル社会の形成を加速度的に進め、私たちの日常生活の質を高めるきっかけにもなりました。

このような状況を踏まえ、2040 年の空港臨海部を見据えたまちづくりを推進していくために、「空港臨海部グランドビジョン 2040」を策定いたしました。本ビジョンでは、「多様な人々が交流・挑戦する“未来型創造都市”」を将来像に掲げ、世界へはばたく空港臨海部を目指しています。

空港臨海部で働く人・訪れる人にとって更に魅力的な場所となるよう、区民の皆様、企業の皆様、国や東京都をはじめ、関係機関と連携・協力しながら、本ビジョンを推進してまいります。

最後に、本ビジョンを策定するにあたり、ご尽力をいただいた専門部会の委員の方々をはじめ、区民の皆様、企業・学生の皆様、様々なご意見をお寄せくださいました多くの方々に対して、心より感謝を申し上げます。

令和4年3月

大田区長

松原忠義



目次

1. 空港臨海部グランドビジョンとは	1
1.1 空港臨海部グランドビジョン 2040 策定の背景	1
1.2 ビジョン 2040 の位置付け	1
1.3 空港臨海部とは	2
1.4 空港臨海部の歴史	3
1.5 目標年次	3
1.6 計画策定の体制	4
2. 空港臨海部の現状と 2040 年の将来動向	5
2.1 各分野における空港臨海部の現状	5
2.1.1 産業の動向	5
2.1.2 土地利用の現況	10
2.1.3 地価の現況	13
2.1.4 交通	14
2.1.5 観光	17
2.1.6 自然環境・スポーツ	18
2.2 空港臨海部の位置付けと開発動向	20
2.3 2040 年の将来動向	22
2.3.1 都市部における 2040 年に向けた社会構造の変化(メガトレンド)	22
2.3.2 技術革新	35
2.3.3 意識革新	39
2.4 産業・都市・ライフ/ワークスタイルの変化がもたらす機会	40
2.5 新型コロナウイルス感染症の影響想定	41
2.6 空港臨海部の目指すべき方向性	43
3. 空港臨海部の将来像	44
3.1 2040 年の将来像	44
3.2 区民にとっての空港臨海部	46
4. 将来像の実現に向けた基本方針	47
4.1 将来像の実現に向けた3つの基本方針と分野別方針	47
基本方針①:高度な産業の集積拠点	47
基本方針②:人の活動と自然の調和	48
基本方針③:次世代のインフラ整備	49
4.2 将来都市方針図	50
4.3 3つの基本方針の狙いと相乗効果	51
4.4 2040 年みらいスケッチ	52

5. プロジェクト	54
5.1 プロジェクトの考え方	54
5.2 プロジェクトの内容	55
基本方針①:高度な産業の集積拠点	56
基本方針②:人の活動と自然の調和	62
基本方針③:次世代のインフラ整備	69
5.3 プロジェクトロードマップ	75
基本方針①:高度な産業の集積拠点	75
基本方針②:人の活動と自然の調和	76
基本方針③:次世代のインフラ整備	77
6. 実現に向けて	78
6.1 ビジョン 2040 の実現に向けて	78